

2015.4.24

曲阜師範大学  
交換留学・レポート1号

国際文化学科3年伊東万里子(13011006)

## 住んでいる寮の紹介(曲阜師範大学)

まず初めに寮の大まかな説明をします。

留学生は留学生専用の寮で生活しています。寮があるのは写真①の左側の「国際文化交流学院」という名前の建物で、これは全部で5階建てです。また、右側の窓が見えない部分は普段使用している教室です。渡り廊下を通して寮から移動できます。このおかげで、住んでいる部屋から1分程度で教室に行くことができます。お腹がすいたら休み時間に部屋へ戻って食べに

写真□ 寮と教室の外観



行くこともすぐにできます。(初めの頃、朝ごはんやお菓子などを持って教室で食べていたら、授業中に食べる人もいるとのことで教室での食事は禁止になりました。飲料は大丈夫です。)

留学生が住んでいる部屋は4階と5階で、1階から3階は山口県立大学という国際化推進室のような、先生方のオフィス等があります。私の部屋は4階ですが、エレベーターがあるので問題はありません。また、1階の入り口にはいつも門番の方が一人いて、出かけるときや帰ってきたときにお互い挨拶をしたり、「ご飯を食べに行くの？」と聞かれ話をしたりと、楽しく過ごしています。門番の方は数日ずつで人が変わりますが、それぞれの方との会話に個性があって面白いです。

次に、住んでいる部屋の様子です。

写真□ 寮の廊下の様子



写真□ 部屋の中の様子



部屋の中はホテルの部屋のような作りです。そこに一人ひとつ勉強机があります。エアコンもあるので自由に風量を設定できます。しかし、各自で温度を設定することが出来ません。暦の上では春であってもまだまだ寒い、という日にも涼しい風がでるので使わないときもあります。

また、各部屋のバスルームにはトイレとシャワー、洗面台があります。バスタブはありません。寮費は二人部屋で、6月末の今学期が終わるまで一人3500円でした。インターネット環境ですが、Wi-Fiは同じように6月末の今学期が終わるまで、100円で使い放題です。夏休みの間、私は日本に帰るつもりがなく寮を利用したいが大丈夫かと尋ねたら「大丈夫、問題ない」と言われたので、おそらく夏休み中も寮を利用できます。部屋の家具やベッドのシーツ、枕カバーなどは現在学校から借りているという状況なので、壊したり失くしたりしたら弁償金を払うことになっています。シャワーのお湯が出なかったり、Wi-Fiが使えなくなったりしたときは4階に住んでいる管理員に伝え、彼が来て直してくれます。

写真□ 部屋の勉強机とテレビ



寮の4階と5階には留学生が自由に使えるキッチン、冷蔵庫、洗濯機、物干し竿があり、生活するうえで必要なものは揃っています。洗濯機を使用する際は一回3元必要です。その際、コインの1元が3つ必要ですが、あまり出回っていないので、買い物をしたとき両替をしたり、寮に住んでいる管理員や先生に言って両替をしたりしています。また、ゴミは各階のエレベーター付近にある大きなゴミ箱に各自入れます。分別は特に決まっていません。ここにたまったゴミを毎朝、寮の掃除の方が回収しています。冷蔵庫のものは名前を書いていてもたまになくなることもあるそうです。

最後に寮生活をしていて、日本から持ってきて個人的によかったと思うものを紹介します。それはS字フックです。S字フックは中国のどのスーパーに行っても意外と見当たらず、似たようなものはあっても、テープで壁に貼り付けたり、くぎで打ったりするタイプのものなので壁や家具を傷つけます。モノに対して優しいS字フックは、洗濯物を部屋干しするときやコート、カバンをかけるときにとても便利だと感じました。

以上で第一回目の現地レポートを終わります。